

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	漁村体験コミュニティ創生事業
対象地域	宮崎県延岡市 土々呂町・浦城町・島浦町地区 ほか
対象地域の概要	【宮崎県延岡市】     ① 延岡発祥の漁法 日高式大敷網 ②③ 古民家ぶり御殿（赤水） 漁法考案者である日高亀市翁の住居
提案内容の概要	延岡市発祥の大型定置網漁法、歴史的価値を有する古民家、地場産品や自然など、豊富な地域資源を活かした交流促進と特産品開発を実施し、新たなコミュニティを創出する。 地域の支え手・担い手を育成し、新たな産業・雇用の創出を目指すなど、衰退する集落機能や地域文化の維持・継承に向けた持続的な取り組みを目指す。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	・ 集落の衰退と地域産業に対する学び・伝承の場の必要性 当地域において、全国平均や延岡市平均よりも早いスピードで過疎化・高齢化が進展しており、それに伴って郷土文化や人々の知恵・記憶といった地域の財産が伝承されないまま、失われようとしている。 また、市町村合併により、延岡市は漁獲高115億円と宮崎県内最大の水産拠点となったが、市民間においても水産業をはじめとする地域産業への理解を深める場がないのが現状である。 漁村での体験交流を通し、広く「学び・伝承の場」を提供する事により、地域への愛着や誇りが醸成され、若者の流出防止、産業の担い手育成につながるだけでなく、消費者の立場から地域産品に対する理解が進み、生産者との新たな関係が構築される。 ・ 市町村合併の影響 延岡市は、平成18年に旧北方町、旧北浦町と、さらに平成19年に旧北川町と合併したが、この一市三町合併により、九州でも二番目の面積を持つ都市になった。行政区の拡がりにより、各地区において住民サービスや、コミュニティ機能の低下防止が課題であり、そのための「新たな公」の取り組みが必要不可欠である。 ・ 高速道路建設の進展 当地域念願の東九州自動車道の供用開始年度が、平成25年（宮崎—延岡間）と平成28年（北九州—延岡間）に迫ってきており（※国による直轄区間を除く）、九州横断自動車道延岡線も御船・山都間の工事が進むなど、近い将来、高速交通網の整備により人と物の流れが活性化し産業や雇用に大きな効果が期待される。しかしその半面、域外大都市へと消費や居住人口が流出してしまう「ストロー現象」による集落機能の低下も懸念され、今から地域コミュニティを活性化させ地域力を高めることで、持続的な発展を促す取り組みが急務となっている。 ・ 地域間競争の激化、地域格差の拡大 経済のグローバル化、地域間・企業間競争の激化に伴い、地方は疲弊してきている。地域活性化に向け、一過性ではなく、住民・行政・団体・事業者等が柔軟に連携した、持続的な取り組みを行っていかねば、ますます地域間の格差が広がってしまう。 生産者が参画し、つくり手の顔が消費者に見える「地産地消」、さらに加工業者や販売業者など、事業者がそこに介在することで地域経済が活性化する「地産地“商”」型ネットワークの構築による循環型経済の活性化が急務となっている。
(2) 活動内容の案	活動①：漁村体験交流事業の実施

	内容： 漁村を舞台に、伝統漁法や地域産品、郷土文化や自然といった地域資源を活かし、漁業体験や料理教室等が体験できるツアーを実施し、都市部や中山間地域との地域間交流を促進する。 あわせて、地域内の住民も対象に、消費者と生産者の交流や、将来的な産業の担い手となる子供達と漁業者の交流を促進する交流事業も実施する。 このような多様な交流を展開する事で、産業への理解や食育、地元住民とのふれあいなどを通したりピーターづくりにつなげ、交流による新しいコミュニティを創出する。 活動②：延岡市発祥「大型定置網(日高式)」の活用 内容： 現在延岡沖に設置されている大型定置網は、明治期に赤水の網元、日高亀市翁が考案した日高式大敷網を原型とするもので、わが国の水産業発展に大きく寄与した延岡市の固有地域資源である。また、この漁法は、環境負荷の少ない漁法として近年見直されてきており、この大型定置網をはじめ、地域に残るストーリーを活用した事業を実施する。 土々呂赤水地区に現存する古民家「ぶり御殿」は、漁法を考案し財を成した「ぶり大尽」日高亀市翁の邸宅であり、延岡市都市景観賞を受賞するなど、当地漁業の歴史を象徴する価値の高い建造物である。しかし現在、建物の老朽化が進むなど、今後の保存・活用が課題となっており、邸宅の所有者である地域住民の協力のもと、交流ツアー実施と併せてこの古民家を活用する方策を検討することで、地域の伝統的建造物活用に関するモデルケースとなる取り組みを目指す。 活動③：地場産品を活用した地域特産品の試作と開発 内容： 海産物を中心とした地場産品を活用し、地元生産者の顔が見える商品づくり、特産品開発を行う。具体的には、近隣の飲食店などで提供できる新メニューや、道の駅などで販売する土産品、ギフト商品等を試作し、将来的な販売体制の確立を目指す。 取り扱うテーマとして、定置網で獲れる新鮮な「定置どれ魚」、県のブランド認定を受けた「一口あわび」、ブランド魚として定着する「めひかり」、フコイダンを含む海藻「アカモク」、さらに環境に配慮した流通外食材の活用など、地場産品に注目した商品開発を行う。
応募団体名	のべおか地域ブランド推進会議
リンク	http://www.miyazaki-cci.or.jp/nobeoka/brand/
部局／担当者名	事務局 黒木・日高
連絡先	TEL 0982-33-6666 e-mail nbcci@miyazaki-cci.or.jp
推薦市町村名	宮崎県延岡市